

平成26年度第1回独立行政法人労働安全衛生総合研究所契約監視委員会（概要）

日時：平成26年6月23日（月）12：55～13：40

場所：独立行政法人労働者健康福祉機構本部18階会議室

委員：田極 春美（三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）主任研究員）

竹内 啓博（公認会計士）

山本 勲（慶應義塾大学商学部准教授）（欠席）

海野 哲也（独立行政法人労働安全衛生総合研究所監事）

藤川 裕紀子（独立行政法人労働安全衛生総合研究所監事（非常勤））

審議対象：

1. 競争性のない随意契約について（平成26年3月～5月に締結した随意契約案件）
2. 競争性のある契約について（平成26年3月～5月に入札・契約締結し一者応札・一者応募となった案件）
3. 平成26年度末までに契約締結が予定されている調達案件

審議概要：（委員 ○、事務局 ●）

1. 競争性のない随意契約について

【整理番号6～8】ガス料金（登戸地区）、水道料金（登戸、清瀬地区）

- 供給元が契約先しかなく、例年随意契約としている。
- 供給元がそこしかないということで、やむを得ない。

2. 競争性のある契約のうち、一者応札となったものについて

【整理番号1、2】清瀬地区、登戸地区で使用する電気

- 入札公告期間、契約から履行開始までの期間を十分に確保し、業者へのPRをしたが、業務多忙等の理由により他の業者の参加は得られず一者応札となった。
- 他の機関を見ても電気の入札は不調になることが多く、結果的に不落随契も多い。一者応札についてはやむを得ないと推察できる。
- 業者へのPRは大事だが、公平にPRをすること。

【整理番号3】会計システム運用支援業務

- 研究所で使用する会計システムの運用保守を委託するもの。システムの開発者であり、プログラムの著作権を有する業者の一者応札となった。
- 著作権の問題等、現実的に現在はそこしかできないという状況であり、やむを得ない。

#### 【整理番号4】有限要素解析プログラム保守

- ソフトウェアのバージョンアップ及び使用の際の技術支援等を行うもの。本システム開発業者の国内での総代理店による一者応札となっており、価格競争の面から、他の業者の参入は現実的に難しいのではないかと考えている。
- 保守費用が著しく安い同種の製品があるのなら、それを購入し直した場合とのコストの比較検討も考えるべき。それにより、ないということが明らかになったのであれば、やむを得ない。

#### 【整理番号5】損害保険

- 研究所の建物設備や実験機器類について、火災時等の損害や賠償責任が生じた場合に備え保険をかけておくもの。複数の業者にPRはしているものの、近年の落札金額を見て入札参加を見送る業者が多かったものと思われ、結果として一者応札となっている。
- 公告期間が14日間というのは新規業者が参入するには短いのではないかと。
- 資産の増減等の確定について年度が明けてからの作業となり、保険の対象及び価額を決定するのに時間を要する。その一方で保険開始は6月1日なので、結果公告期間が短くなっている。
- できるだけ複数の応札が行われ競争性が発揮されるよう、入札にあたり公告の時期、保険の対象及び価額の定め方等につき見直しを検討すること。

### 3. 平成26年度末までに契約締結が予定されている調達案件

#### 【整理番号9】マルチチャンネル分光器の購入

- 研究において、静電スパークの特性を分析するに当たり必要な機器の調達で、すでに公告しており、7月に開札を予定している。すでに業者にもPRしており、複数入札を見込んでいる。
- 了解した。